



(新潟県妙高市) 自治体SDGsモデル事業

みんなで作る生命地域 Redesignプロジェクト



現状と課題（背景）



- (プラス要因) 未来への宝 = 清廉な雪と豊かな自然環境「**妙高戸隠連山国立公園**」のフル活用
- (プラス要因) 国内の他自治体に先駆けて「**生命地域妙高ゼロカーボン推進条例**」を制定
- (プラス要因) **北陸新幹線**による東京から110分の速達利便性の向上
- (マイナス要因) 人口減少、生産年齢人口減少による**地域の担い手不足**
- (マイナス要因) 利用者減による公共交通事業者の持続的な運行、**市民生活・観光面での移動の課題**
- (マイナス要因) コロナ禍によるインバウンド・国内観光客の減少、**観光消費額の減少**



本モデル事業により・・・

- アフターコロナ・2025年大阪万博を見据え、日本を代表し**先駆的にSDGsに取り組む国際的な観光リゾート拠点として発信し、世界から誘客！！**
- 二次交通など移動・モビリティ面で**DX化を進め、市民生活や観光客の移動利便性の向上と脱炭素化を推進！！**
- 地方分散型社会を踏まえ、妙高型ワーケーションを推進し、**首都圏等から関係人口を創出・拡大！！**



妙高市における自治体SDGsモデル事業の概要



みんなでつくる生命地域Redesignプロジェクト

国立公園妙高の自然環境を軸として、市民や観光客等にとって利便性と満足度の高いサービスを再設計し提供することにより、**経済・社会・環境の好循環**を生み出すとともに、**真の豊かさを実感でき、安心して住み続けられる「生命地域 妙高」**をつくる。



経済



課題：地域資源を活用した ツーリズムプログラムの充実

- 農林業体験を組み合わせた観光の推進
- 健康保養地プログラムの推進
- アドベンチャー・スポーツツーリズムの推進
- スポーツ等合宿の郷づくりの推進

課題：観光二次交通の充実による 回遊性向上

- 主要駅と観光地を結ぶ二次交通の充実と利便性向上
- 地域内を周遊する観光バスの充実



妙高高原ライナー



環境

課題：国立公園妙高の自然環境の 保全と活用

- 生物多様性の保全
- 里山の保全と活用



課題：ゼロカーボンシティの推進

- 環境にやさしいライフスタイルの普及
- 再生可能エネルギー等の利用促進



社会

課題：市民生活を支えるための 公共交通の確保

- 地域特性に応じた公共交通サービスの提供
- 高齢者にやさしい公共交通サービスの提供

課題：デジタルシフトの推進

- 市民サービスの高度化と利便性向上
- デジタル技術の活用を通じた地域経済の活性化
- テレワーク・ワーケーションの推進による関係人口の創出



火打山のライチョウ

三側面をつなぐ統合的取組（全体）

生命地域妙高のエコモビリティチャレンジ



多様なステークホルダーとの協働の下、都市部人材の新たな人の流れを創出・拡大し、地域との交流や官民連携の中で生まれる価値の共有と地域共創の動きを加速させるとともに、全市民がSDGsに取り組み、ゼロカーボンの達成に貢献!!



笹ヶ峰高原における新たなエコモビリティの導入

- 標高1300mに位置し、妙高戸隠連山国立公園を代表する景勝地・・・**類まれな自然環境を有する笹ヶ峰高原**は、古くからエコツーリズムのフィールド、**市内外問わず多くの人に自然の魅力と森林セラピー効果による癒しを提供**
- 高原内にはバリエーション豊富な遊歩道が整備・・・自然が織りなす**いくつもの観光スポットを散策可能**
- ここに、**新たなエコモビリティを実証導入**・・・散策の範囲・時間が限られていた高齢者や身体の不自由な方、子どもまで、誰もが行きたい観光スポットを訪れ、自然を満喫できるサービスを提供
- 実証導入の効果と課題を踏まえ、国立公園内のその他フィールドに**新たなアクティビティとして横展開**・・・**妙高山麓が有する生命の循環と人との関わりを基軸としたSDGs ツーリズムの発展に貢献**
- **高原の入口で一般車両の乗入れを制限**・・・登山者やキャンプ場利用者のための**電動車両（運転手付）を運行**



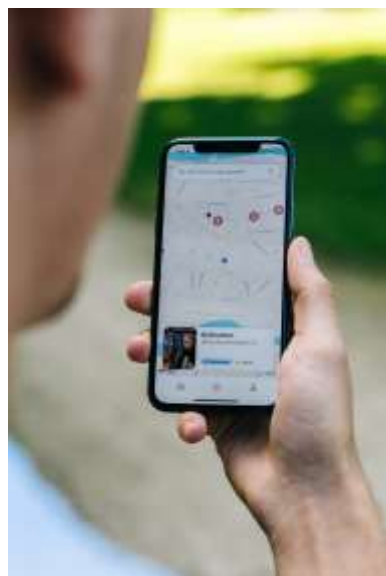
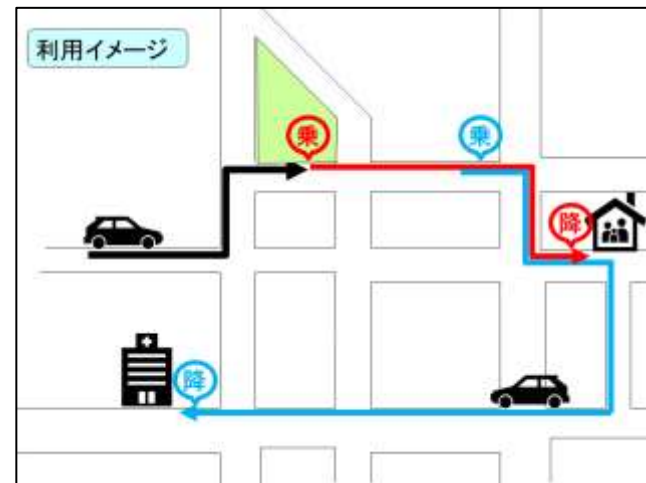
AIを活用したシェア型デマンド交通サービスの提供

(1) 「シェア×デマンド」交通サービスの提供

人口減少時代に即した、**新たな公共交通サービス：シェア型（相乗り）デマンド交通サービス導入**・・・高齢者や観光客などの利用者はスマートフォン等で、予め乗車する時刻や場所、行先等を予約。運行事業者はAIを活用したシステムで最適なルートを決め、運行することで、効率化と利便性が向上

(2) デジタルリテラシーの向上

通信事業者と連携し、出前講座（地域集会施設等での教室）を開催
・・・**高齢者等のスマートフォンなどを使いこなせる能力の向上**、シェア型デマンド交通などのサービスを**誰もが利用可能**



妙高市×
エコモビリティ
チャレンジ



SDGsツーリズムの推進

(1) 生命地域妙高探求学舎「地球の学校」の開校

- 主なターゲット：首都圏等の親子・・・森林環境譲与税を活用した森林学習（木育交流）を推進する東京都の自治体等と連携
- SDGs視点で学習できる体験プログラム：
 - ・ホンモノの自然の中にある、地球の生命力・自然環境が有する多面的機能などを五感で体感
 - ・自然環境が人間の経済社会活動に与えている、恵み「食や産業」・厳しさ「自然災害」・これらの循環等の学習
 - ・現地でのリアル体験と四季を通じた遠隔デジタル学習を組み合わせることで、妙高の魅力を継続的・効果的に発信
- 企画運営：

妙高高原ビジターセンター・国際自然環境アウトドア専門学校・頸南森林組合・杉野沢財産区・地元住民・地元企業と協働

(2) 首都圏住民&生命地域妙高環境サポーターズとの協働による保全活動

- 地域の環境サポーターズが参加している自然環境保全活動に参加・・・
 - <首都圏住民> 妙高の自然環境や歴史文化等に関する理解の深化
 - <地元住民> 地域資源等を活かした新たな価値を創造
- プログラム外での自発的交流に発展・・・関係人口の創出・拡大



三側面をつなぐ統合的取組④



妙高型ワーケーションの推進

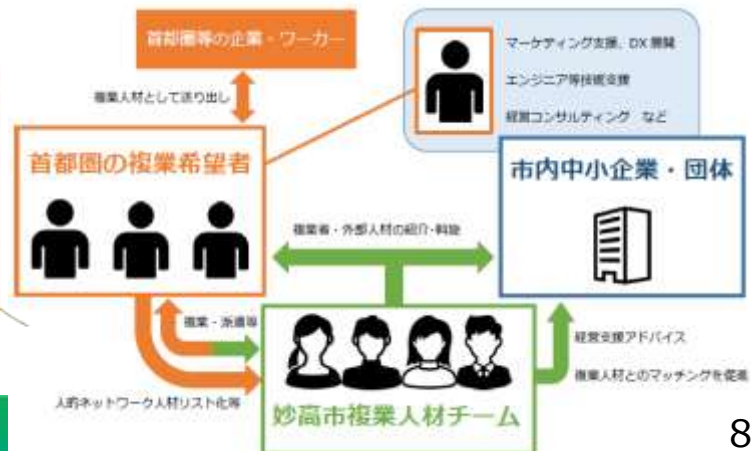
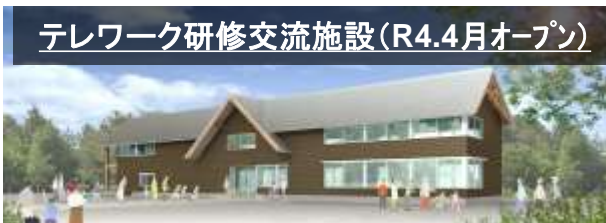
妙高市への新たな人の流れを創出するため、**首都圏等の企業やテレワーカー等を対象とし、ワーケーションやビジネスマッチングなどによる関わりをもつ**ことで、地域の担い手の確保、サテライトオフィス等を開設

(1) テレワーク環境の充実

- 新たにコワーキングスペースやシェアオフィス等を兼ね備えた**テレワーク研修交流施設を整備**
- 民間事業者によるサテライトオフィス等の整備・運営等を支援
- 「**みようこうミライ会議**」を機に実証を進めている**モバイルワークステーションなど妙高ならではのワーケーションスタイルを普及・展開**

(2) 首都圏人材を呼び込むワーケーションプログラムの充実

- 首都圏の企業人材等が妙高の大自然の中で学びを得ることができる「**ラーニング型ワーケーション**」の一環として、**SDGs 体験プログラムを造成**
- 市内の中小企業等の経営発展等に向け、**首都圏の企業人材等（複業人材）と市内企業等とのビジネスマッチングを推進**



経済・社会・環境の各側面の相乗効果（新たに創出される価値）



● 関係人口による地域課題の解決

● デジタルシフトの推進による市内への企業進出、起業・創業



経済



三側面をつなぐ統合的取組 生命地域妙高の「エコモビリティチャレンジ」

- 笹ヶ峰高原における新たなエコモビリティの導入
- AIを活用したシェア型デマンド交通サービスの提供
- SDGsツーリズムの推進
- 妙高型ワーケーションの推進

社会



● 環境保全意識の高まりによるライフスタイルの転換

● 電動自動車の導入・効率的な運行によるCO2排出削減

環境



● SDGsツーリズム地球の学校参加者などによる域内消費額が増加

● エコモビリティの導入によりCO2排出削減
● SDGs意識の醸成による保全と活用促進



自律的好循環の具体化に向けた事業の実施



■ ステークホルダーとの価値共想による持続可能な地域社会の構築



電動自動走行バギー(イメージ)



AI搭載シェア型デマンド車両(イメージ)



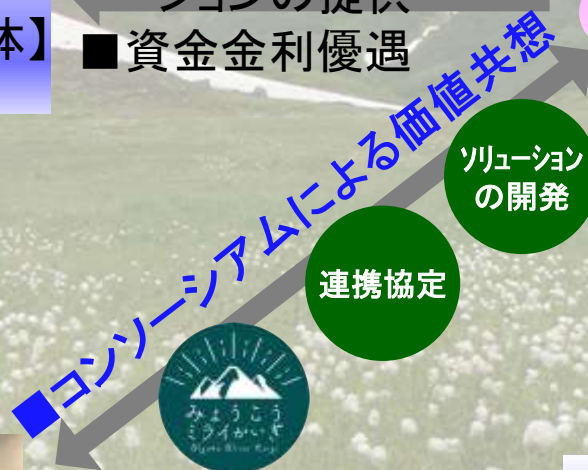
モバイルワークステーション

【SDGsツーリズム実施主体】
【妙高型ワーケーション実施主体】

- ノウハウ・新たなソリューションの提供
- 資金金利優遇

【ステークホルダー】
都市部企業(人材)等
地元金融機関

■ 体制の構築支援



ソリューションの開発

連携協定



- ノウハウ・新たなソリューションの提供
- 資金金利優遇

■ 都市部人材との
ビジネスマッチング
支援

【SDGsパートナー企業】
地元企業

※みようこうミライ会議：官民連携プラットフォーム

(都市部企業、市内団体・企業、妙高市の三者による協働チーム)